

営農だより 第8号



目標

- ①「米ぬか入り肥料」の施用により、循環型農業の実践
- ②粒張が良く、食味値 80 点以上の良食味米

～出穂が早くなっています！！
出穂後の高温障害にご注意ください！！～

6・7 月は気温の高い日が続きましたが体調はいかがでしょう？今年の 7 月前半も気温・日照時間が例年を大幅に上回り、降水量は少なく推移しています。これにより出穂は例年より早く、昨年と比較し 1～2 日程度遅い予想です。また標高の低い地域ではコシヒカリの穂が見え始めたほ場も見受けられました（7 月 15 日現在）。8 月、9 月も気温が高いことが予想されています。出穂後の高温障害に気を付けましょう。出穂の頃は稲体の水分蒸散量と酸素消費量が最大となります。中干しは終了して、常に土壌が水分を保持している状態を保ってください。水と酸素の両方を必要としますので、間断灌水を実施します（前月号参照）。

出穂期を把握することは病虫害防除や水管理、刈取り時期を確認するのにも重要です。例年より早い時期に出穂期を迎えると思われますので、作業や管理のタイミングを逃さないよう気を付けましょう。（※出穂期：穂が 50%出た日で、穂が見え始めた日ではない）

今後の重要な管理として、品質を落とさないためにカメムシ防除が必要となります。気温が高い今年はカメムシが多発しています。例年被害が少ないほ場でも今年はカメムシが発生することが考えられますので、適期の防除をお願いします。

暑い日が続きますのでこまめな休憩と水分補給を心がけ、体調管理に気を付けましょう。

【御殿場の気象】アメダスデータ御殿場

項目	平均気温（℃）			日照時間（hr）			降水量（mm）		
	本年	平年	差	本年	平年	%	本年	平年	%
4 月 計	12.3	11.5	0.8	172.8	161.3	107.1	165.0	252.6	65.3
5 月 計	16.3	15.9	0.4	126.1	158.6	79.5	338.0	243.7	138.7
6 月 計	21.6	19.2	2.4	130.4	103.0	126.6	277.0	312.5	88.6
7 / 1 ～ 5 日	24.8	21.5	3.3	26.8	14.8	181.1	21.0	73.9	28.4
6 ～ 10 日	26.1	22.1	4.0	31.3	16.8	186.3	44.5	71.7	62.1
11 ～ 15 日	23.2	22.6	0.6	17.6	18.4	95.7	37.0	60.6	61.1
7 月前半 計	24.7	22.1	2.6	75.7	50.0	151.4	102.5	206.2	49.7

水稻栽培履歴管理簿回収について

令和 7 年産 水稻栽培履歴管理簿（1 品種につき 1 枚記入）

上記管理簿を 8 月下旬に部農会で回収させていただきますので、必ず記入をお願いします。用紙を紛失された方は、最寄りの営農経済センターまでご連絡ください。

おいしいをつくりましょ。

富士伊豆農業協同組合

発行 令和 7 年 7 月 1 8 日
北駿産米改良推進協議会
JA ふじ伊豆御殿場営農経済センター
TEL:0550-84-4820

【管内水稻生育状況】 株間平均 21.0 cm （目標茎数 324 本） 7 月 15 日(火)現在

場所	標高 (m)	田植 え日	茎数 (本)	茎数/ m ²	分げつ 数(本)	草丈 (cm)	葉齢	葉色	出穂 予測
神山(町屋)	280	5/3	14.7	261	3.8	82.2	12.9	3.6	7/24
吉久保	370	5/1	27.4	419	9.1	87.7	14.3	3.7	7/20
大堰	400	5/6	27.9	437	8.5	85.8	13.5	3.7	7/30
用沢	460	5/5	18.9	299	6.3	82.8	13.4	3.7	7/29
中畑	550	5/3	22.4	352	8.0	78.8	13.7	3.7	7/28
上柴怒田	610	5/8	32.5	497	9.0	84.4	12.6	3.7	8/4
平均			24.0	377.5	7.4	83.6	13.4	3.7	
R6 平均			20.2	325.7	5.0	77.6	12.9	4.0	

葉色がさめているほ場では高温障害の発生が懸念されます。ほ場を確認し、葉色がさめているが穂肥を散布していないほ場がありましたら、お近くの営農経済センターへご相談ください。

水稻生育巡回結果

コシヒカリの出穂は昨年と比較し 1～2 日遅い予想です。

7 月 3 日から 7 月 11 日まで、御殿場市・小山町管内ほ場を地区・部農会ごとに生育巡回を実施しました。結果は下記のとおりです。（今後の気温次第で出穂時期が予想と前後することがあります。）

【コシヒカリ出穂予想】（生育巡回調査結果より）

支店	地区	本年出穂予想	R6 出穂予想	支店	地区	本年出穂予想	R6 出穂予想
富士岡	全地区	7/30	7/23	北郷	下古城	7/27	7/23
原里	全地区	7/28	7/27		吉久保	7/27	7/26
印野	全地区	7/30	7/27		大胡田	7/28	7/27
玉穂	全地区	7/28			用沢	7/28	7/29
御殿場	東山	8/1	7/28		棚頭	7/26	7/27
高根	古沢	7/26	7/28		上野	7/31	7/26
	大堰	7/27	7/25		阿多野	7/30	7/27
	上小林	8/3	7/30		一色	7/30	7/29
	清後	7/30	7/28		大御神	7/30	7/30
	山之尻	7/29	7/28		中日向	7/27	7/26
				足柄	所領・宿	7/24	7/21
					桑木・新柴・向方	7/22	7/24
				小山	成美	7/25	7/23
					明倫	7/23	7/27

今年も例年と比較し出穂が早く、昨年より 1～2 日程度遅い出穂と予想されます。自身のほ場の出穂期を確認しましょう。また今年は気温が高く降水量が少ないため、カメムシの大量発生が懸念されます。裏面または営農だよりの前月号を参考に、防除のタイミングを確認してください。

重要

～ 出穂後 25 日までの水管理 ～

出穂前後湛水管理を行ってください。出穂期以降は酸素も供給するため間断湛水を実施します。**長期の湛水は病害の発生や根を傷めるので気を付けましょう。**また刈取り前の落水を早めると根の機能が低下するため、稲全体の活力が低下し、枯れ上がりを加速させます。稲全体の活力低下は着色粒の発生を引き起こし、枯れ上がりは籾の水分が急激に下がるため胴割れ粒の発生も助長します。コンバイン収穫に支障がない限り、落水時期を遅らせる事が重要です。

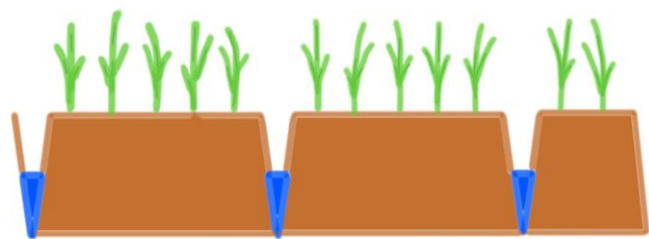
◆水管理のポイント◆酸素と水が必要な時期です(80%湿っていれば良い)

【方法1】溝切りした溝だけに入水する。

(田面には水が乗らないように、溝に常時入水する)

- ・草丈伸長抑制による倒伏軽減。
- ・出穂後遅くまで根に水・酸素を常時供給できるので登熟が良くなる。下葉が枯れにくい。
- ・溝以外は乾き、コンバイン作業も可能となる。

入水口は溝とつなげるが、出口はつなげない。
(水を溜めるため)



溝にだけ水を入れる。根に酸素と水が供給される。田面に水が乗らないので乾きやすい。

【方法2】間断湛水

- ①水をさっと流し、ほ場内に水を溜めない。
- ②水が自然落水して、ヒビが入る直前に入水。



◆登熟期にかけての水管理◆

出穂期・登熟期間は水を必要とします。玄米は初めに長さ、次いで幅、最後に厚みが決定します。

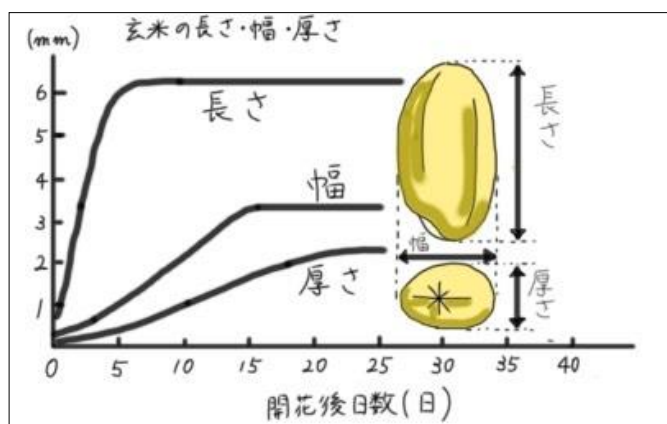
長さ：開花後およそ 5 日頃

幅：開花後およそ 15 日頃

厚み：開花後およそ 20～25 日頃

早期に落水をしてしまうと、厚みのない(粒張りのない)米となってしまいますので気を付けましょう。
上図の〔方法1〕〔方法2〕を行い、常に土壌が湿っている状態を保ちましょう。
(最低 25 日間は落水しない)

右記 2 つの写真の程度であれば大丈夫です



【ほ場水分の様子】



土を握って水が出てくれば大丈夫です!

高温障害に気を付けましょう

今年は気温が高く、8 月、9 月も高温になることが予想されています。出穂後の気温により高温障害が懸念されますので、天気予報を確認しながら水管理により高温障害を予防しましょう。

温暖化の影響とされる水稻事象

- ①白未熟粒の増加…水稻の蒸散に対して吸水が追いつかず生育が止まる。また夜間の高温時に稲の呼吸が促進され、日中に生産したデンプンが根や穂に届かなくなる。これにより粒に空気の層ができ、白未熟米となる。
- ②胴割れ米の増加…完熟した米粒内の急激な水分変化により内部圧力の不均衡が大きくなると胴割れが生じる。登熟初期の温度条件が関与している。
- ③カメムシの増加 …温暖化により産卵数が増加し、また世代交代の回数も増加するためカメムシの個体数が増え、斑点米被害も増加する。

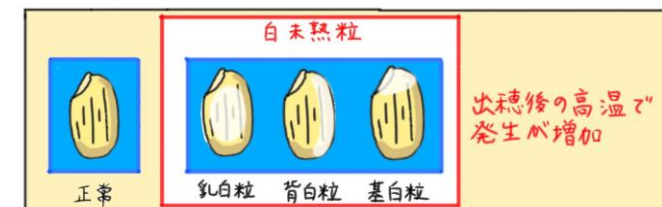
出穂後 10 日間の間：最高気温が 35℃を超えると胴割れ発生の危険が高まる。

出穂後 20 日間の平均：最高気温 32℃、平均気温 27～28℃、最低気温 23～24℃を超えると白未熟粒が発生しやすい。

《対策》

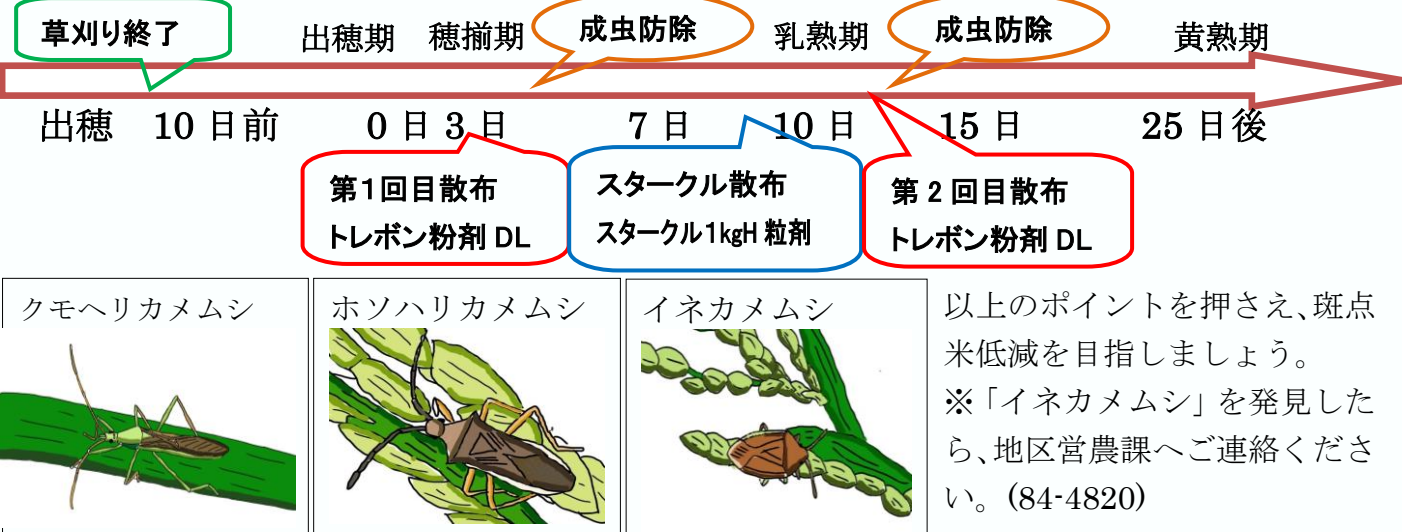
夜間のかけ流しにより稲体や地温を上げないようにしましょう。

しかし用水には限りがあります。地域全体ですばらしい米をつくるために、川下にも水が届くよう協力しましょう。



水田カメムシ防除について

6 月中旬に静岡県が行ったカメムシ発生調査では、今年の発生率は例年と比較し **10 倍とされています**。穂がほ場全体で 80～90% 出た時期(穂揃い期、成虫侵入期)とそこから 7～10 日後(幼虫ふ化期)の 2 回薬剤散布を行うと防除効果が高まります。



ライス、カントリーの稼働について(予定)

※詳細は次回号に記載します。

〔ライスセンター〕

受付期間 もち米:8 月 25 日(月)～9 月 11 日(木) うるち:9 月 13 日(土)～9 月 23 日(火)

受付時間 午前 10 時 00 分から午後 5 時 00 分まで

〔カントリーエレベーター〕

受付期間 9 月 1 日(月)～9 月 30 日(火)

受付時間 午前 10 時 00 分から午後 5 時 00 分まで